

こ せ がわい ちい せき はなまき しやくしよ ほくせい ばしよ
小瀬川 I 遺跡は、花巻市役所から北西に 5.9km の場所にあります。

おううさんみやく ひがし なが なべ わりがわ かがんだんきゆう いせき ほじょう
奥羽山脈から東に流れる鍋割川の河岸段丘にある遺跡ですが、圃場
せいび じぎょう へいせい はつつちょうさ おこな
整備事業のため、平成 25 年から 26 年にかけて発掘調査が行われ

ました。

ちょうさ やく じょうもんじだいちゅうき たてあな
調査では、約 5,000 年前から 4,000 年前 (縄文時代中期) の竪穴

じゅうきよあと とう ほったてばしらたてものあと ど こう ぼ こう こう あな
住居跡 37 棟や掘立柱建物跡、土坑、墓坑 (「坑」は穴のこと) など

かんじょうしゅうらくあと わ しゅうらくあと
が見つかり、大きな環状集落跡 (環のかたちをした集落跡) である

ど き しゅうのう
ことがわかりました。また、見つかった土器などは収納するコンテ

はこ
で 390 箱ほどになり、中でも、

こ おおがた どころ
高さ 20cm を超える大型の土偶

たいへんきちょう しりょう
2 点は、大変貴重な資料です。



大型の土偶 (平成 26 年度調査)



大型 (径 7m 前後) の竪穴住居跡 (平成 26 年度調査)

